

経営比較分析表（令和元年度決算）

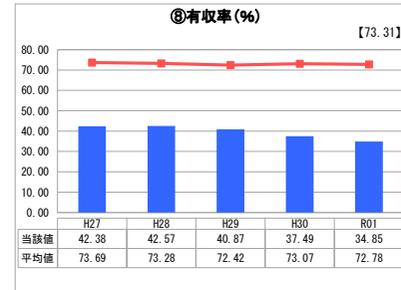
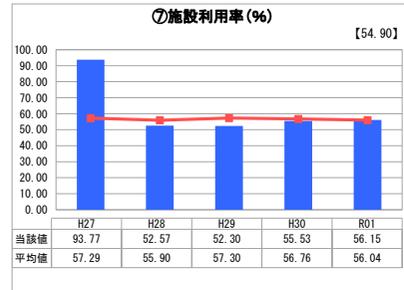
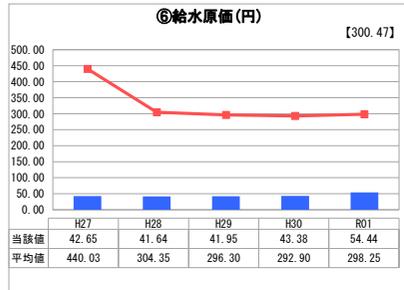
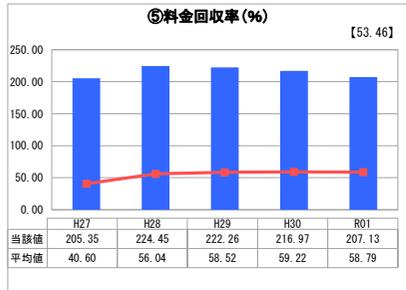
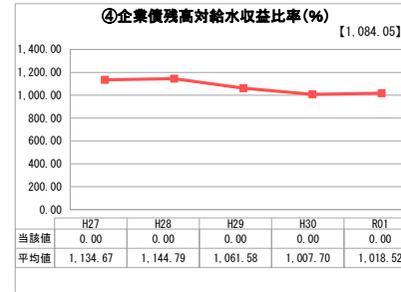
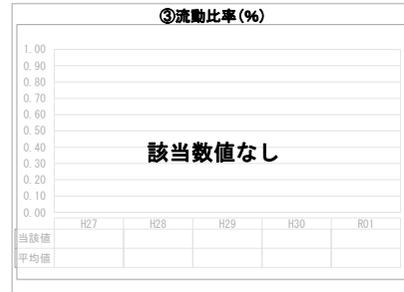
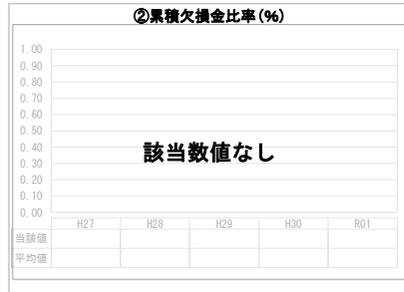
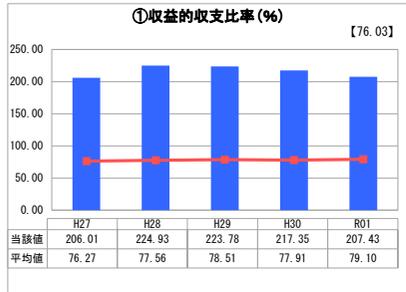
岐阜県 養老町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	7.19	2,240	

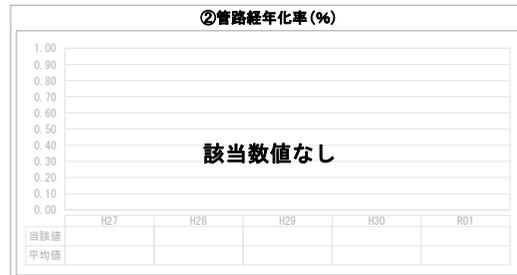
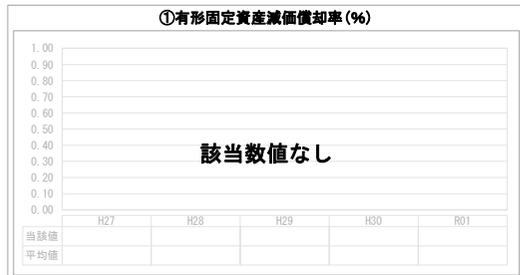
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,587	72.29	395.45
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,041	15.00	136.07

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度に料金改定を行ったことや施設、埋設管等の修繕が少なく支出が抑えられたことにより、収益的収支比率は100%を上回り、黒字を示しています。

また、料金回収率も100%を上回っており、給水に係る費用は全て料金収入によって賄われていることから、経営は健全であるといえます。

しかし、給水減価は類似団体より低くなっていますが、年々増加傾向にあり、これは、有収率が低く収益に結びついていないことが原因と考えられます。有収率の低下については、埋設管等の漏水などによる無効水量が原因と考えられ、有収率の低下を防ぐためにも漏水の早期発見、修繕に努めていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

施設等の老朽化が進んでいますが、令和6年4月から上水道への移行を開始し、令和7年3月末には完了することから、施設等の更新工事や大規模な改修工事を行う予定はありません。

そのため、上水道への移行が完了するまでは、安定的に水を供給できるよう施設や埋設管等の定期的な点検や修繕などを行い、適切な維持管理に努めていく必要があります。

全体総括

昨年度に引き続き経営状況は安定していますが、施設や埋設管等の老朽化に伴う漏水等により有収率が低下傾向にあります。

しかし、令和6年4月より上水道へ移行することから、施設や埋設管の更新工事を行う予定はありません。

今後は、漏水箇所等の修繕に努め、有収率の向上を図っていきます。